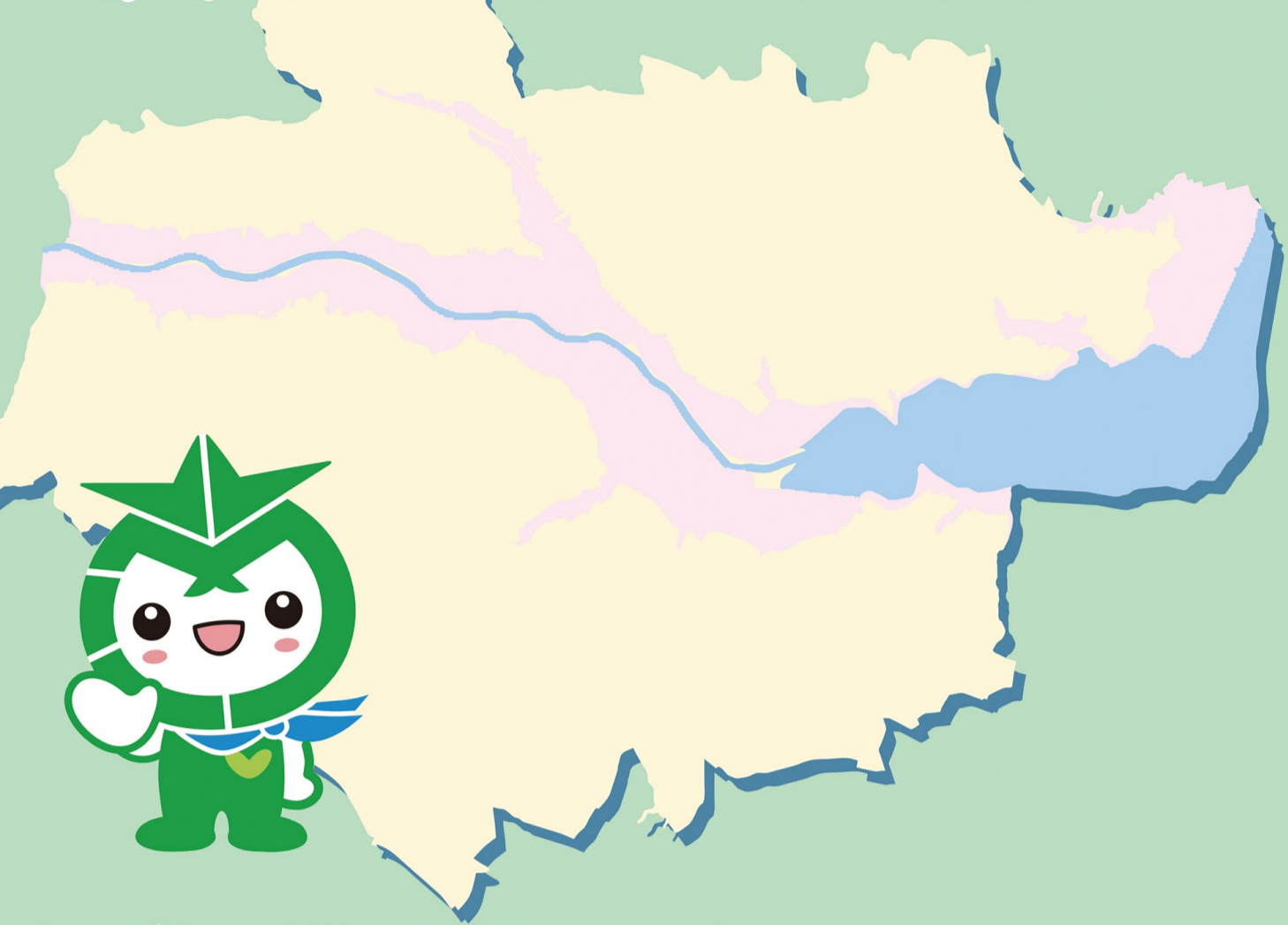


茨城町 洪水ハザードマップ



① わが家の防災メモ (災害時の主な連絡先)

避難(集合)場所				
避難所				
緊急連絡先(親戚・知人等)				
名前	生年月日	血液型	会社・学校等の住所	電話番号
家族の連絡先				



町からの情報発信

避難情報の発令等について、以下の方法でお伝えします。

防災行政無線 放送が聞き取りにくい場合は、登録制メール配信サービスにご登録いただくか、下記のテレフォンサービスをご利用ください。

防災行政無線テレフォンサービス TEL 0800-800-8848(通話料無料)
※過去48時間以内の放送内容を聞くことができます。

登録制のメール配信サービス 配信登録はこちら →

防災行政無線の放送内容を、放送と同時にメール配信しています。また、その他の行政情報も随時配信しています。

大雨等の際には、防災行政無線の放送が聞き取りにくくなることも想定されます。災害発生時は町の電話回線が混雑しますので、放送内容について、お電話でのお問い合わせはできる限りご遠慮いただき、メールでのご確認をお願いいたします。

テレビ 茨城町ホームページ 茨城町公式twitter

ラジオ <https://www.town.ibaraki.lg.jp/>

緊急速報メール 茨城町公式LINE

LINEの検索欄で「茨城町」または「茨城町公式LINE」を検索するか、@ibarakitown を検索してください。

安否情報の確認

災害時の声の伝言板 171 災害用伝言ダイヤル

災害時には電話が混雑し、家族と連絡が取れなくなる方が多くいます。そんなときには「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数(最大10件)など、利用条件についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

録音方法 再生方法

171→1→自分の電話番号→伝言吹き込み 171→2→連絡を取りたい方の電話番号→伝言聞く

※災害用伝言ダイヤルは、一般電話のほかにも公共電話、携帯電話からも利用できます。

インターネットを利用した伝言板 web171 災害用伝言板

災害用伝言板(web171)は、インターネットを利用して被災地の安否確認を行う伝言板です。
<https://www.web171.jp/> または 二次元コードからアクセス →

登録方法

災害用伝言板(web171)へアクセス → 伝言を登録したい電話番号を入力して「登録」 → 安否や伝言を入力して登録

確認方法

災害用伝言板(web171)へアクセス → 伝言を確認したい電話番号を入力して「確認」 → 伝言一覧が表示される → さらに「登録」から新たな伝言が登録可能

●お問い合わせ 〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
茨城町 総務部 総務課 電話番号: 029-292-1111 (代表)

災害時に取るべき行動や普段からの備え、情報収集の方法について、矢印に沿って順番に確認してみましょう。

警戒レベルと避難情報

町は、災害の状況に応じて、以下のとおり警戒レベル3~5の避難情報を発令することがあります。あらかじめ、それぞれの避難情報の意味をご確認いただき、災害時に適切な行動が取れるよう備えておきましょう。町は、気象庁が発する情報や、各河川の水位等から総合的に判断し、避難情報を発令します。

警戒レベル	状況	町が発令する避難情報	住民の方がとるべき行動	気象庁が発する各警戒レベル相当の情報
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保	直ちに安全を確保 (既に災害が発生しており、安全な避難ができない可能性大)	大雨特別警報 危険度分布「災害切迫」(黒) 氾濫発生情報
~~~~~〈警戒レベル4までに必ず避難!〉~~~~~				
4	災害の恐れ高い	<b>避難指示</b>	<b>危険な場所※から全員避難</b>	<b>土砂災害警戒情報</b> 危険度分布「危険」(紫) 氾濫危険情報
3	災害の恐れあり	<b>高齢者等避難</b>	<b>避難に時間がかかる方は危険な場所※から避難</b>	<b>大雨警報(土砂災害)</b> 洪水警報 危険度分布「警戒」(赤) 氾濫警戒情報
2	気象状況悪化	—	<b>避難行動を確認</b> (避難経路・避難先など)	<b>危険度分布「注意」</b> 氾濫注意情報 大雨注意報 洪水注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	—	<b>災害への心構え</b>	<b>早期注意情報</b>

※危険な場所 主に洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップで色が塗られている区域を指しますが、色が塗られていない場所でも、周りより低い土地や崖の近くにお住まいの場合は、平時から避難の準備をしておきましょう。

土砂災害ハザードマップも必ず確認しましょう。町ホームページで確認できます →

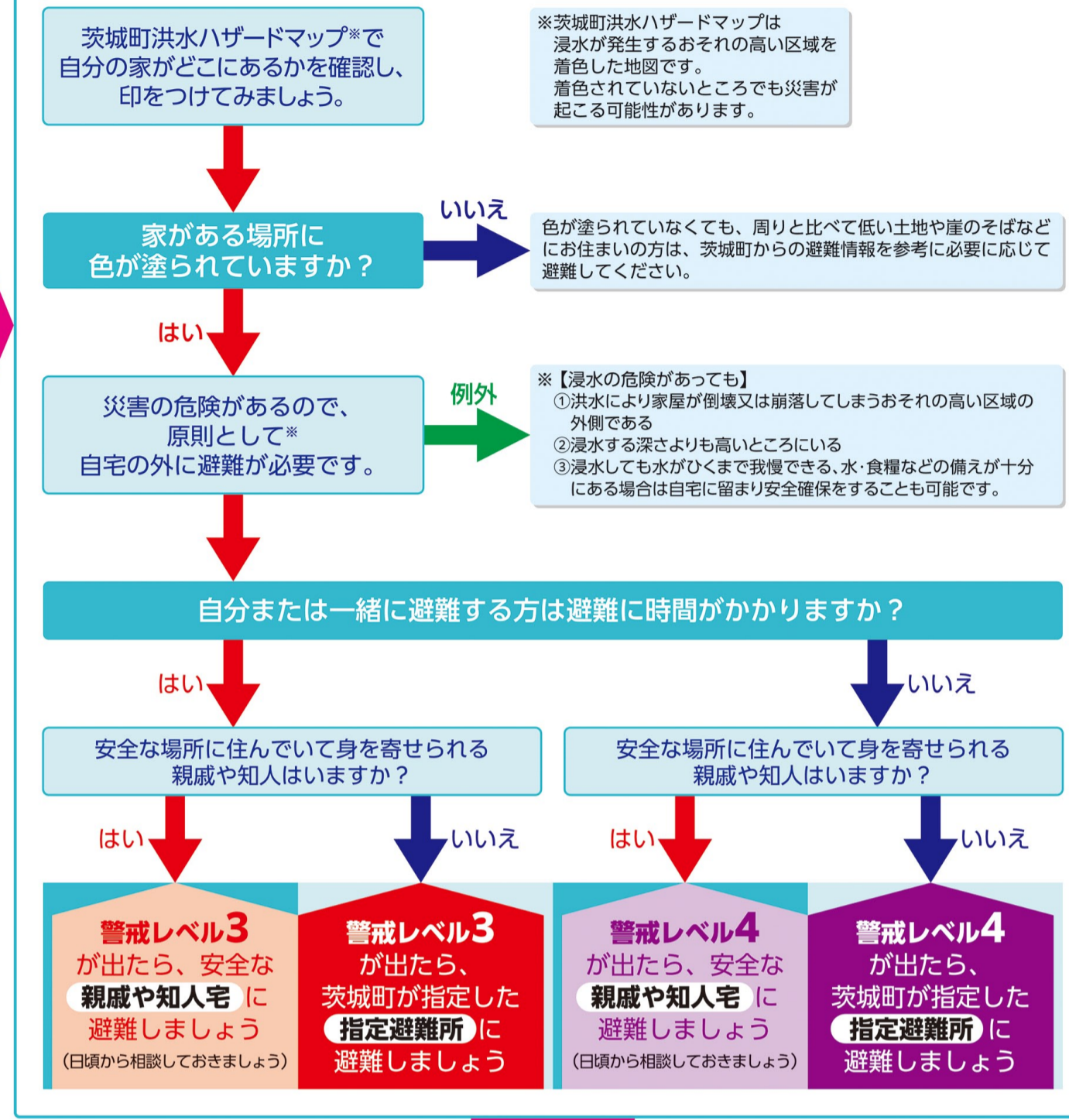
## 「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

### 避難行動判定フロー

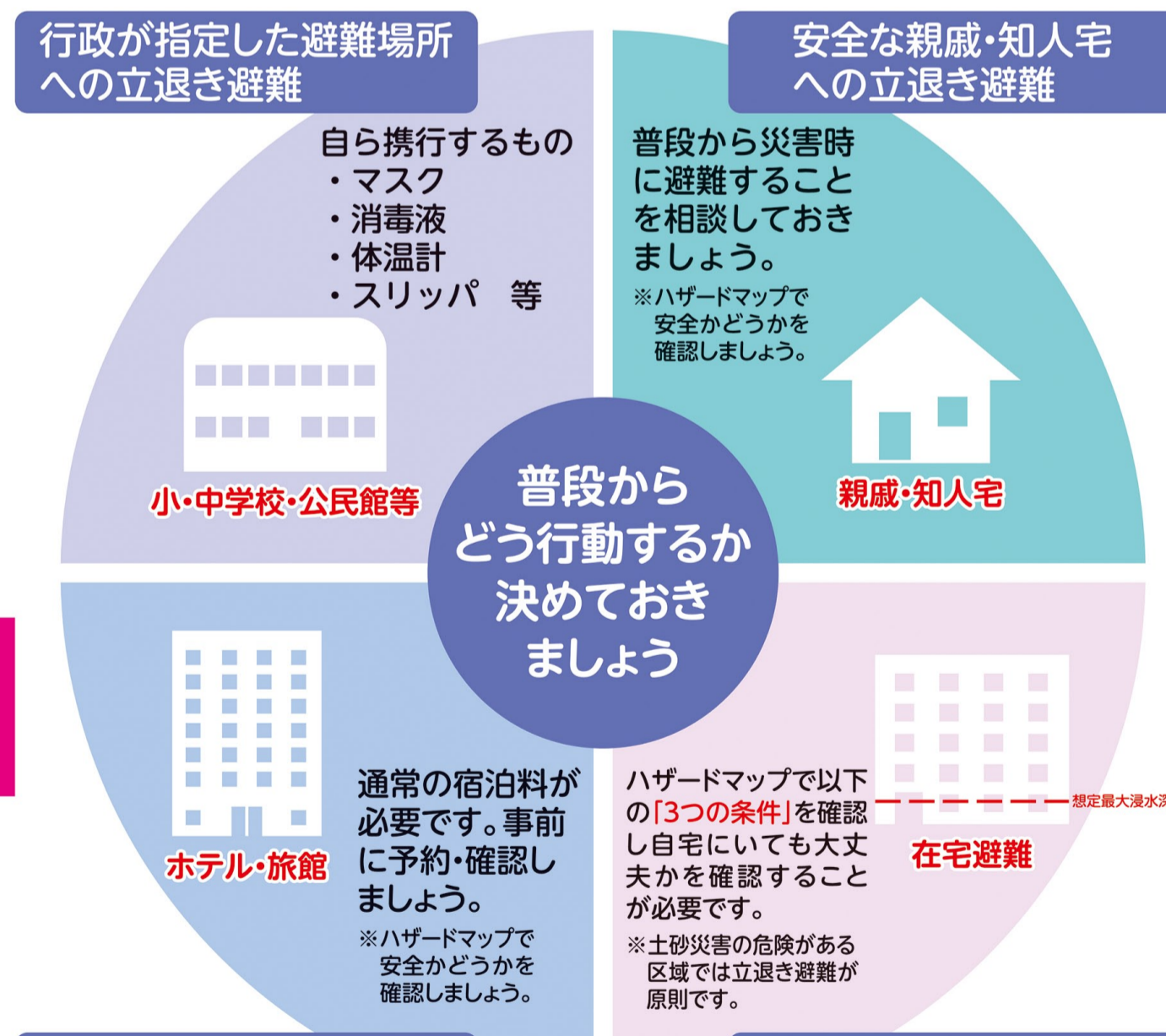
あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取り組みましょう**



どのように避難するか決めておく

## 避難先の検討

「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です。

1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない(入っていると...)	2 浸水深より居室は高い	3 水がひくまで我慢でき、水食料などの備えが十分(十分じゃないと...)
高速が速いため、水道家は倒壊のおそれがあります	4階 5m~10m未満 (3階床主室水=4階軒下浸水)	水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります
地面が崩れたら家は建物ごと崩落のおそれがあります	3階 3m~5m未満 (2階床主室水=3階軒下浸水)	
	2階 0.5m~3m未満 (1階床主室水=2階軒下浸水)	
	1階床下 0.5m未満 (1階床下浸水)	

豪雨時の屋外の移動は車も危険です。やむをえず車の中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認してください。

## 自宅での防災備蓄

災害発生時は、水道、電気、ガス、等のライフラインの停止だけでなく、買い物に出られなくなったり、お店の商品が品薄になることが考えられます。そのような状況に備え、以下の考え方を参考に生活必需品等の備蓄を行います。

- 1 水や食料を、最低限3日分備蓄しましょう。
- 2 家族構成にあわせて備蓄しましょう。(乳幼児用の粉ミルクなど)。
- 3 食料や日用品を常に多めに備え、古い物から使用する「ローリングストック」が便利です。
- 4 避難時に持ち出すものは、以下の「非常持ち出し品のチェックリスト」を参考にリュックサックなどにまとめておきましょう。

## 非常持ち出し品のチェックリスト

<b>携帯ラジオ</b> 正しい情報を得るため、FMとAMの両方が聴ける携帯ラジオとその予備電池	<b>飲料水・食料</b> 食料は火を避さなくても食べられるものを、水はミネラルのオウゴンなどを、乳幼児がいる場合は粉ミルク	<b>生活用品・衛生用品</b> マスク、体温計、缶切り、ティッシュ、ビニール袋、携帯トイレ、生理用品などを、乳幼児がいる場合は哺乳瓶
<b>ライト・ろうそく</b> 停電時や夜間の移動に欠かせないライトやろうそく、乾電池を、ろうそくは太くて安定のよいもの	<b>救急薬品・常備薬</b> ばんそうこう、ガーゼ、包帯、三角巾、消毒薬、解熱剤、胃腸薬、風邪薬、鎮痛剤、目薬、ピンセットなどを、持病のある方は常備薬	<b>衣類</b> 上着、下着、手袋、靴下、ハンカチ、タオルなどを、乳幼児がいる場合は紙おむつ
<b>ヘルメット(防災ずきん)</b> 屋根瓦や看板などの落下物から頭を守るためのヘルメット(防災ずきん)	<b>現金</b> 現金は、紙幣と硬貨の両方	<b>通帳類・証明書・印章</b> 預金通帳、健康保険証、免許証、住民票の写し、印章など

## 避難時の心得

**情報の収集と自主的避難** 防災行政無線・テレビ・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報、避難情報に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

**お年寄りや体の不自由な人、小さな子どもを優先する** お年寄りや体の不自由な人は特に危険な状態になりやすい。避難の際は、お年寄りや小さな子どもを優先して避難しましょう。

**避難する前に確認を** 避難する前には、ガス栓やガスメーターを締め、テレビなどのスイッチを消し、電気のブレーカーを落としましょう。

**動きやすい格好、2人以上での避難** 避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。

**避難する前に確認を** 避難する前には、ガス栓やガスメーターを締め、テレビなどのスイッチを消し、電気のブレーカーを落としましょう。

**避難する前に確認を** 避難する前には、ガス栓やガスメーターを締め、テレビなどのスイッチを消し、電気のブレーカーを落としましょう。

**避難する前に確認を** 避難する前には、ガス栓やガスメーターを締め、テレビなどのスイッチを消し、電気のブレーカーを落としましょう。

## 避難行動計画(マイ・タイムライン)を作りましょう!!

災害発生時に逃げ遅れを防ぐため、平時時から各家庭でやるべきことを確認しておく行動計画(マイ・タイムライン)を作成しておきましょう。

作成日: 年 月 日

警戒レベル	町が発令する避難情報	あなたの行動(記入例)	あなたの行動
警戒レベル1 早期注意情報	気象庁や町から出される情報(気象情報や避難情報等)	テレビやラジオで台風情報を確認する ハザードマップを確認する マイ・タイムラインを確認する	あなたの行動
警戒レベル2 大雨注意報・洪水注意報・河川氾濫注意水位到達	非常持出袋の確認をする 避難先、移動手段、避難先までの移動時間を確認する	家近くの河川の水位を確認する(インターネット) ※河川には近づかない!! 動きやすい服に着替える	あなたの行動
警戒レベル3 「高齢者等避難」発令	避難開始(避難先:○○小学校) ※高齢者など避難に時間のかかる人は避難を始める	避難開始(避難先:○○小学校) ※高齢者など避難に時間のかかる人は避難を始める	あなたの行動
警戒レベル4 「避難指示」発令	避難開始(避難先:○○小学校) ※危険な場所から全員避難完了	避難開始(避難先:○○小学校) ※危険な場所から全員避難完了	あなたの行動
警戒レベル5 緊急安全確保発令	命を守る行動 避難所への避難経路が危険な場合、高い場所など安全な場所に移動する。	命を守る行動 避難所への避難経路が危険な場合、高い場所など安全な場所に移動する。	あなたの行動

● 雨の強さと降り方

1時間の雨(mm)	予備用雨	雨の降り方、災害発生状況
10~20	やや強い雨	ザーザーと降り、話し声がよく聞こえない。地面に水たまりができる。
20~30	強い雨	どしゃ降り。靴濡や下水、小さな川があふれ、小規模なけずれが始まる。
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降り。道路が川のようになる。けずれが起きやすくなり、都市部では下水管などから雨水があふれる。
50~80	非常に激しい雨	滝のように降り、マンホールや側溝から水が噴出する。
80以上	猛烈な雨	崩壊しやすくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。